

よしかわ通信



りんどう
凜道

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から一年半がたち、ロンドンオリンピックに湧いた夏も終わりました。高萩市内を見ていますと、ようやく、道路の修復、家々の改修など復興の様子がうかがわれるようになってまいりました。市役所庁舎につきましても、仮庁舎が稼働し始め、本庁舎の建設計画も徐々に進んでおります。このまま復興が進むと思っていました。最終処分場の事が出るまでは・・。これから紅葉のすばらしい季節、近年、知名度のあがってきた花貫渓谷を訪れる観光客が増えるはずなのに、最終処分場を作るなんて、許されない話です。市議会を含め、高萩市としては断固反対。

今後の国の対応が注目されます。これから高萩市の将来を市民の皆様と一緒に考えていくべきだと思っております。

今後ともご指導、ご意見よろしくお願い申し上げます。



発行

高萩市議会議長

よしかわどうりゅう
吉川道隆

高萩市安良川686
TEL 0293-24-0833
FAX 0293-22-3340
ホームページ <http://www.douryu.net>
E-mail info@douryu.net

震災復興等対策特別委員会 9月21日

○本庁舎再建場所について

24. 9. 21
震災復興等対策特別委員会
資料1 (経営企画課)

◎:最適 ○:適 △:課題あり

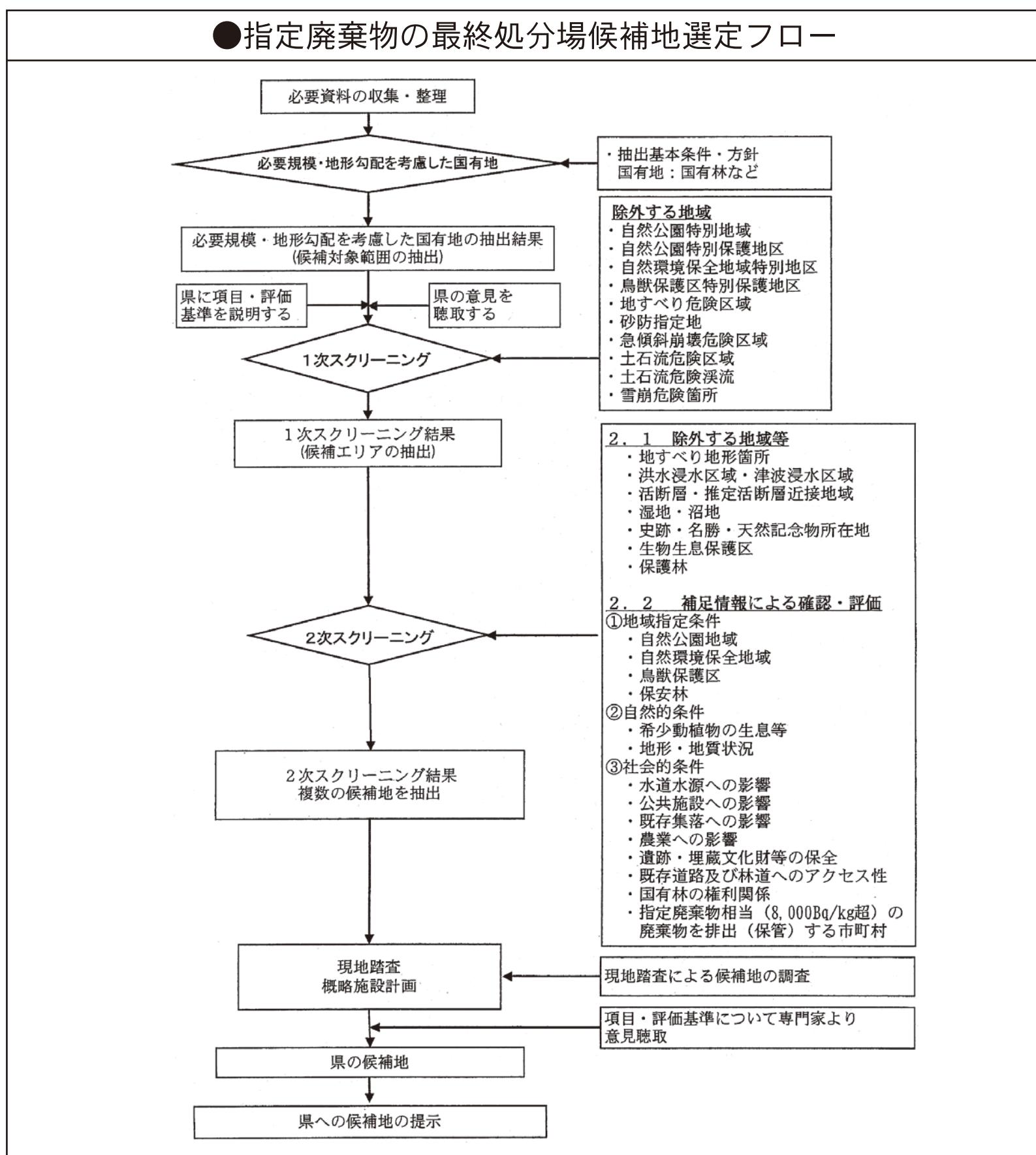
候補地	A	B	C	D	E		
項目	本庁舎跡地	福祉センター リーベロ	協同病院跡地	駅前用地	グリーンタウンてつな		
立地条件	1 敷地面積 ・形状 ・既存建築物	8,535.37m ² ほぼ整形 無	15,213.92m ² ほぼ整形 有(約3,900m ²)	5,145.47m ² ほぼ整形 有(約800m ²)	8,217.05m ² 不整形 無	6,831.47m ² 不整形 無	約90,000m ² 希望形状対応可 無
	2 所有者	高萩市	高萩市	高萩市	民有地	高萩市(予定)	
	3 茨城県津波浸水想定エリア	エリア外(海拔7m程度)	エリア外(海拔6m程度)	エリア隣接(海拔5m程度)	一部エリア内(海拔5m程度)	エリア外(海拔48m程度)	
	4 用途地域等	第二種居住地域	第一種居住地域	第一種居住地域 (見直し中)	商業地域	用途地域無指定 開発行為要変更(粗造成地)	
	5 接道(幅員)	市道118(9m)、市道205(8m) 市道1759、市道1760	市道1661(7m)	市道102(7m) 市道1573(7m)	県道(12m) 市道1354(7m)、市道1355	市道1703(8m)	
	6 利便性	駅まで徒歩10分程度	駅まで徒歩5分程度	駅まで徒歩10分程度	駅前	駅まで車15分程度	
	7 インフラ	上・下水道整備済	上・下水道整備済	上・下水道整備済	上・下水道整備済	上・下水道整備済	
比較検討項目	ア 利用者の利便性 (ワンストップ、行政機能集約、駐車場の確保)	◎	△ 健診・イベント時の駐車場不足	△ 庁舎分散	△ 庁舎分散、駐車場不足	○	
	イ 災害時への対応	○	○	△ 津波浸水エリア	△ 津波浸水エリア	○	
	ウ 交通アクセス	○	○	△	○	△ 交通網の整備	
	エ 市の財政負担	◎	○ 駐車場確保	○ 周辺道路整備	△ 借地料、駐車場確保	△ 整地、インフラ・公共交通整備	
	オ 新たな利害関係の調整有無 (事業者・住民)	-	有	有	有	有	
総合評価		◎	○	△	△	△	

資料をもとに、特別委員会の中で検討した結果、全員一致で、A 本庁舎跡地に再建することに決定いたしました。他の候補地については、津波浸水の可能性、駐車場の問題、周辺道路の整備、借地料の発生、インフラ整備の必要性など何らかの検討課題が出てくることになるので、やはり、従来の場所に作ることが最適と考えられました。完成までは早くても5年はかかると思いますが、少しでも市民の方々に使いやすい市役所となるよう、検討してまいりますので、ご意見等がございましたら、よろしくお願い致します。

指定廃棄物の最終処分場が高萩市に!?

平成24年9月26日、環境省から突然、最終処分場の候補地として高萩市の国有林野を提示されました。環境省からの通達内容をご報告いたします。

本年1月1日から完全施行された放射性物質汚染対処特措法において、放射性セシウム濃度が8,000Bq/kgを超える指定廃棄物は国が責任をもって処分するものとされており、処理は排出された都道府県内で行うものとされています。それで、茨城県内の廃棄物は茨城県内で処理をしなければならないことになります。その、県内のどこにするかという選定作業は国が責任を持って進めてきました。その選定については、以下のようなフローに基づいて検討されたそうです。



その結果、選定されたのが・・・

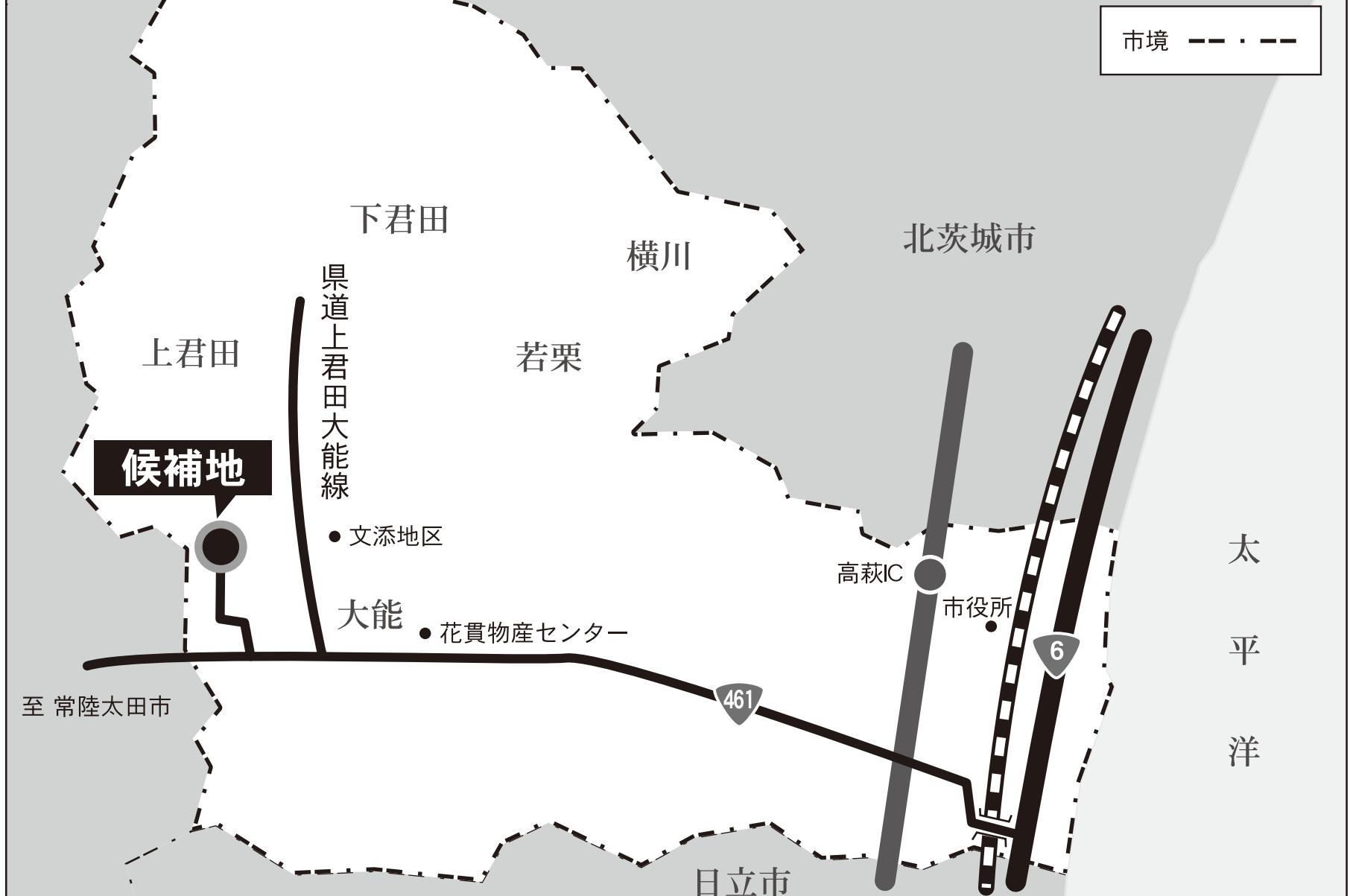
○高萩市大字上君田字堅石 国有林野 (図参照)

面 積 1.1~1.5 ha

施 設 • 指定廃棄物埋め立て地(遮断型) • 農林業系副産物等の仮設焼却炉
• 仮設焼却対象物の仮置き場所、管理棟、外周道路など管理用施設、防災調整池など

候補地地図

市境 -----



スクリーニング作業や現地踏査を通じて、候補地となった評価結果は次のとおり。

【スクリーニング結果】

- ① 土地利用に関する法令面の制約のある地域に該当しない。
- ② 地盤・災害リスク、自然・文化遺産保護、生態系保全等から、候補地として望ましくない地域に該当しない。
- ③ 地形勾配が 10%ないし 15%以下であって、現在保管されている廃棄物のみならず今後発生する廃棄物の処分にも十分対応できる規模（約 1.5ha）の国有林野である。
- ④ 水道水源、河川、崖地等から離れており、地形や地質の条件は良好であるとともに、周辺土地利用等への影響が小さい。

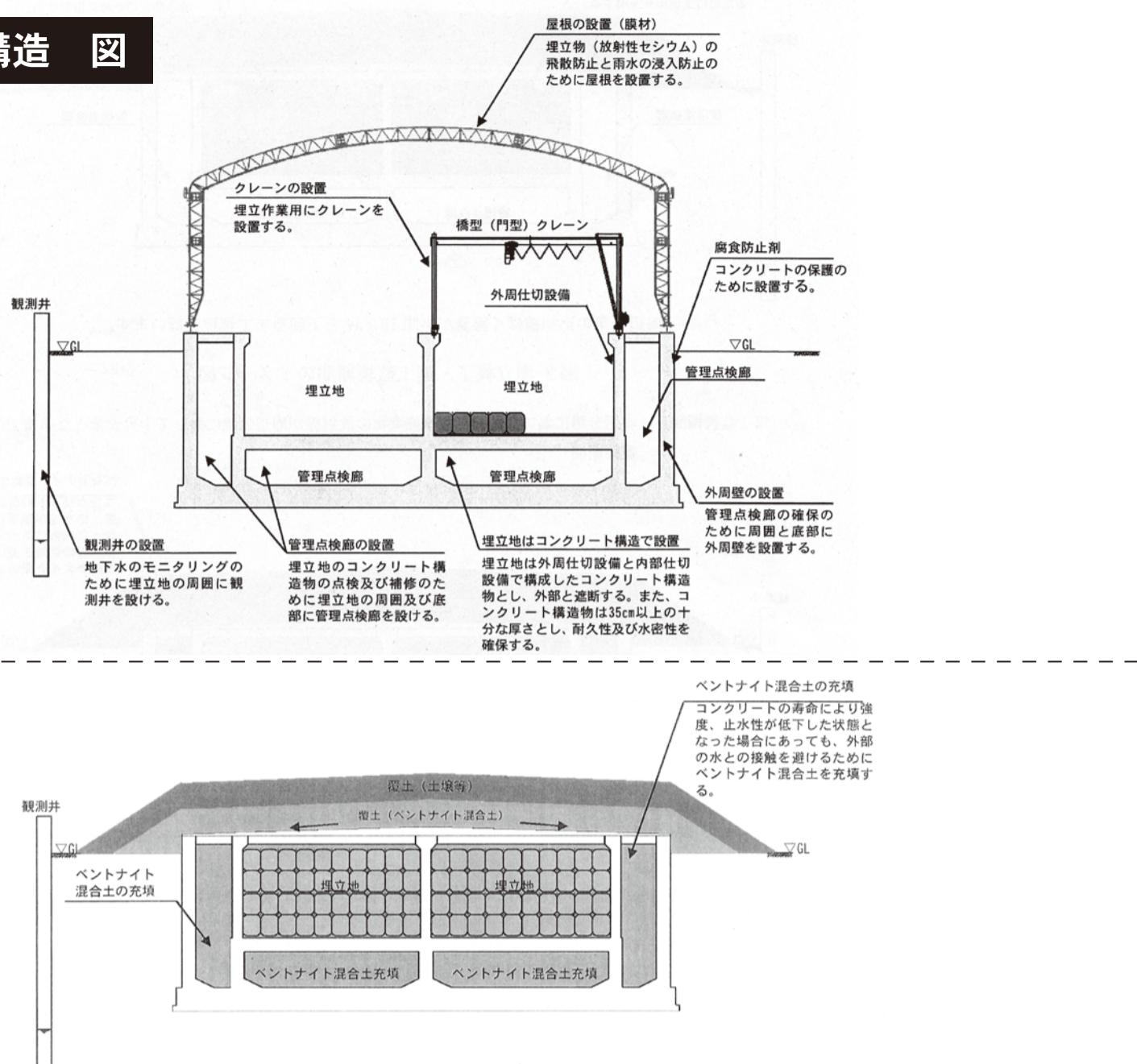
【現地踏査結果】スクリーニングの段階で選出された候補地の中で、評価点が高く、地形等の条件からみて施設整備が困難となる要因がないため、現地踏査を行った結果が以下のとおり。

- ① 候補地内及び周辺の植生は、大部分が単調なスギ・ヒノキ植林地のため植生の自然度は低く、造成による動植物への影響は軽微であり、有利。
- ② 国道より候補地まで通ずる林道にてアクセス可能であり、すでに大型作業車が通行するための退避スペース等が整備されており、大規模な整備は不要と推察される。
- ③ 風化花崗岩からなる山体の山頂付近の尾根に位置するなだらかな緩傾斜面であり、地形・地質に問題がない。
- ④ 候補地南側の尾根部では、地下水位は深いと推察され、施設の地下水侵入に対する長期的な安全性は高い。
- ⑤ 候補地から 1 km以内に水利用や修ら木が確認されることから、周辺土地利用等への影響は小さい。

国が設置しようとしている最終処分場の構造は、次の図のとおり。

搬入する農林業系副産物等の安全評価を行い、放射性物質に関する安全性についても確認するそうです。また、モニタリング等も適切に実施するなど焼却施設の安全性の確保に万全を期すとされています。

最終処分場の構造 図



高萩市の対応

農作物への影響、風評被害、観光への影響などから、市長としては断固反対、市議会も反対の立場で決議し、意見書をもって直接10月4日、国に提出しました。

**吉川の
考対応▶**

東日本大震災による東京電力福島原発の事故により放射性廃棄物が出ていること、それをいつかどこかで処分しなければならないことは、変わらない事実です。しかし、それが、どうして高萩市になるのでしょうか？高萩は被災地であり、行政も市民もまちの復興のために大変な努力をしてまいりました。壊れた本庁舎や道路、解体、整備、話し合いを経て、やっと、軌道に乗ってきたと思っていた矢先の提示でした。どこかには造らなければいけない、できるだけ自然に影響のないところに・・・と考えはわかりますが、国の進め方に問題があると思います。国有林の候補地がいくつかあるならば、それを県内全域の市町村からなる検討委員会を設置し、国主導ではあったとしても、各地域の意見を聞き、それを反映させた上で検討委員会での候補地の絞り込みをしていく、その過程において住民説明をしながら進めていき、最終決定をするというなら、納得もできるかもしれません。何の前ぶれもなく、突然、環境省副大臣がやってきて、「決まったのでよろしくお願ひします。」では、賛成できるわけがありません。栃木県の矢板市でも何の前ぶれもなく、突然提示があったそうです。ここで反対集会が行われ、受け入れてもらえなかったのにもかかわらず、またしても同じ進め方で依頼しにくるというのは、どういうことでしょう？普通なら「急に言っても反対を受けるから、提示する前に話し合いをしてからにしよう。」となぜ考えないのでしょうか？

本来なら、地元住民に対し、施設の必要性とか、選定理由や安全策、もしもの時の保証内容とか、事前の説明があるべきです。いつの間に現地踏査にきたのだろう？と思います。これから、現地説明に来ることになっていますが、順序が逆ですよね・・・。

農作物への影響、風評被害、全くないはずがありませんし、こんなやり方で、納得できるはずがありません。高萩市としては断固反対という立場で主張していきます。

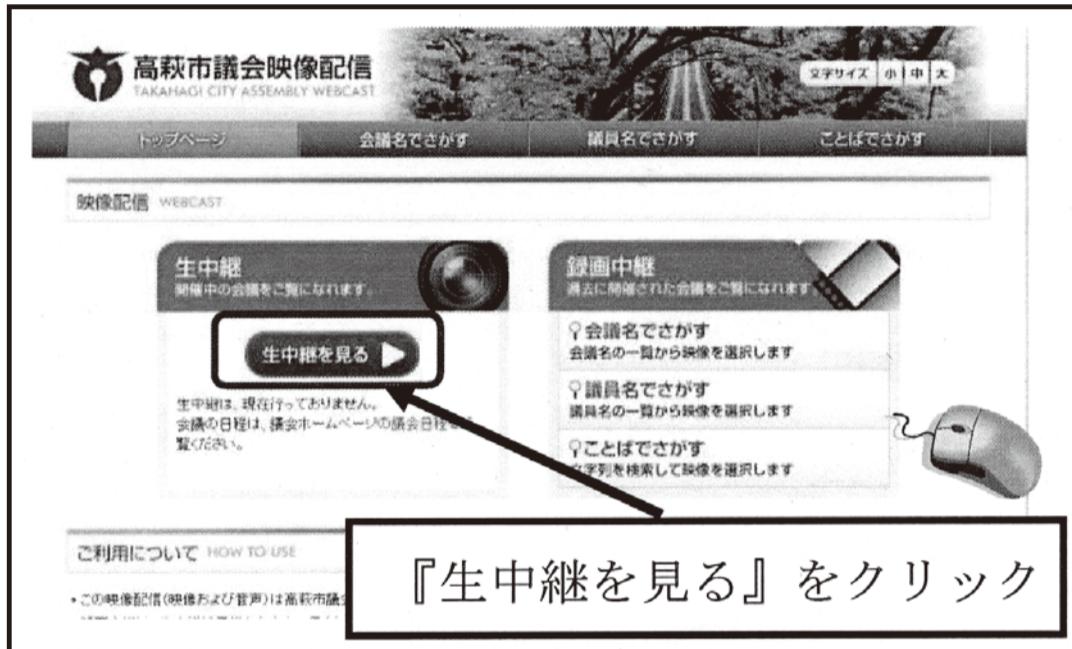
議会改革等調査特別委員会

議会映像インターネット配信開始

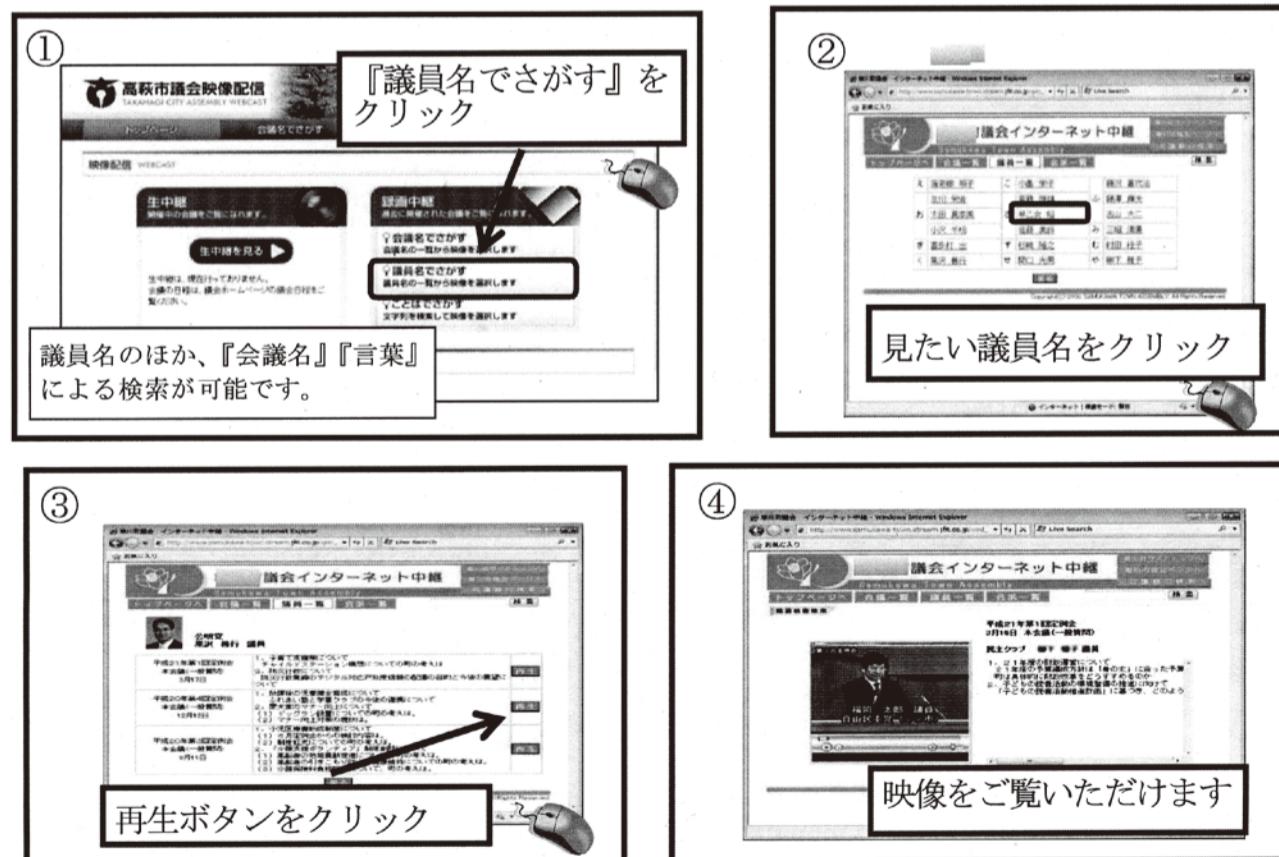
9月議会より、高萩市議会ホームページにおいて、議会映像の生中継および、録画中継を見る事ができるようになりました。録画を見る場合は、開催日の約1週間後からになります。是非ご覧ください。また、たかはぎ災害 FMにおいて、議会のラジオ生中継が行われました。インターネットの議会映像とずれがあった、音声が聞き取りにくかった等の報告もあり、今後不具合の調整をさせていただく予定です。

閲覧の方法

●生中継をご覧になる場合



●録画をご覧になる場合（録画はおおむね開催日の1週間後からご覧になれます。）



平成21年以降の高萩市議会本会議の会議録を平成24年9月初旬からインターネットで閲覧できるようになりました。

常磐三市長・議長会 常磐三市(いわき市・北茨城市・高萩市)の再生をめざして

一般国道 6 号勿来バイパス新規事業化について 要望活動

常磐炭田をもとに発展した地域で、現在も観光・産業などで深くつながりのある常磐三市。この三市を縦貫する一般国道 6 号は、関東と東北地方を結ぶ情報や物流の重要な幹線道路となっています。しかし、いわき市南部から北茨城市、高萩市、日立市北部に至る区間については、周辺の地域開発、産業活動による通過交通量の増大に伴い、朝夕の交通渋滞は慢性化し、沿線住民の日常生活のみならず、地域の経済産業活動に大きな支障をきたしている状況です。また、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災に伴い発生した大津波により、甚大な被害を受け、いわき市勿来地区及び北茨城市磯原地区などにおきましても国道 6 号は一時冠水するとともに、大津波警報が継続したため、いわき市から北茨城市への避難ルートが確保できず、通行に大きな支障をきたしました。

現在、福島、茨城の両県内においては、いわき市の常磐バイパスの 4 車線化工事が着実に推進するとともに、北茨城市的新病院建設のアプローチ道路となる北部幹線道路の整備や北茨城市と高萩市を南北に結ぶ 2 市連絡幹線道路の整備が進められております。福島県でも復興を支援する交通網の整備の具体的な取組として「勿来バイパスの事業化」が明記されました。

今後、大災害を経験した「常磐三市の再生」に向けて臨海地域の経済活動及び観光交流活動に寄与した広域道路ネットワークの形成を図ること、そして、今後再び、同規模の津波に襲われても市民が安全・安心に避難できるよう、広域避難道路の役割を担う防災道路の整備を図ることは必要不可欠です。

以上の理由により、常磐三市長・議長会として、国土交通省に要望活動をしております。

～常磐三市の再生～



IWAKI KITAIBARAKI TAKAHAGI
三市広域観光シンボルマークの「ハマギク」

がんばっぺ
いわき

明日を信じて
元気! 北茨城



<これまでの活動>

以下のとおり、要望書提出してまいりました。

平成 24 年 8 月 22 日 国土交通省 国土交通大臣 羽田雄一郎氏
民主党幹事長代行 楠床伸二氏

9 月 24 日 国土交通省関東地方整備局
茨城県知事 橋本 昌氏
常陸河川国道事務所

10 月 2 日 国土交通省東北地方整備局

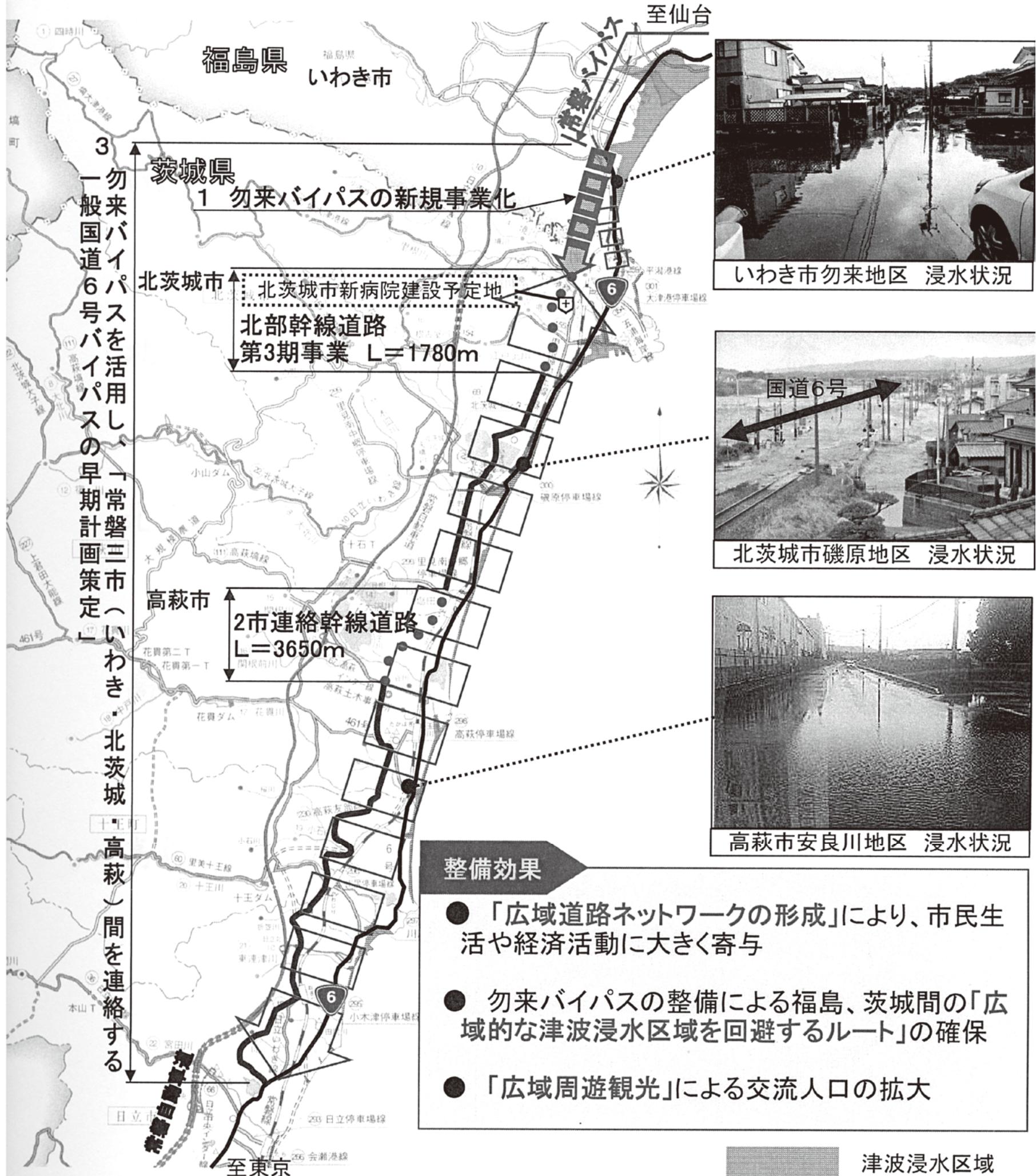


中央：羽田国土交通大臣

要望内容

～常磐三市の再生～

- 1 福島、茨城間の広域避難道路としての役割を担う「一般国道6号勿来バイパスの新規事業化」
- 2 幹線道路の事業促進に対する国の支援(北部幹線道路・2市連絡幹線道路)
- 3 勿来バイパスを活用し、「常磐三市(いわき・北茨城・高萩)間を連絡する一般国道6号バイパスの早期計画策定」を図ること



第10回 飯能新緑ツーデーマーチ 5月19日

高萩市の友好都市である、埼玉県飯能市が、市政施行50周年記念事業としてスタートしました。国内有数のウォーキング大会で、清流で知られる入間川や美しい天覧山など風光明媚な景色を楽しみながら、5キロ～30キロのコースを歩きます。今年は震災復興支援として招待を受け、市内中学生など総勢110名の高萩市民が参加しました。私も皆さんと共に5キロコースを完歩しました。2日間で、6,000人の参加で、市役所の駐車場は、無料休憩所のほか、震災復興元気市（平成24年3月11日開催）と同様に、たくさんの売店が並び、一日中大人も子供も楽しんでいました。

私は、飯能市議会議長・副議長さんと一緒にコースを歩きながら、市内の色々の所を案内していただきました。参加された方々は、大変楽しまれたかと思います。

飯能市では、健康づくりの推進を目的に、ウォーキング人口3万人を目指し、様々な取り組みが行われています。地域のお勧めのウォーキングマップを作成し、いつでも、どこでも、だれでもウォーキングに取り組めるようにしてしたり、「スゴ足手帳」というものをウォーキング事業・イベント参加者に配布して、歩いた距離の記録をつけ、一定の距離に到達した方を広報誌で紹介したり、スゴ足イベントに数多く参加した方には特典を進呈したりしています。飯能市の年間16回も行われるスゴ足イベント。ウォーキング推進の熱意が感じられます。こういうことで市民の健康づくりに役立てるということは、おもしろいと思います。

飯能市には、震災の時に支援物資をいただいたり、震災復興として支援金を頂いたり、非常にお世話になっております。こういった友好を大切に、友好都市として、もっともっと深いつながりに発展していくことを願うことと、感謝で一杯です。



プレミアム商品券

今年も昨年同様、発行されることになりました。
内容は次のとおりです。

発行枚数	3,000セット	1セット当たりの販売額…10,000円(プレミアム1,000円)
1セットの内訳	商工会券…6,000円	共通券…5,000円
発売(取扱)期間	10月13日～2月28日(4か月半)	
商品券販売場所	高萩やすんでつ亭(旧たかはぎ薬局)	
取扱店舗	昨年以上(185店以上)	

多くの皆様にご利用いただければと思います。

吉川の 考 察 ►

今まで、飯能市や新庄市と友好都市となっていても、私個人的には、ほとんど交流に参加していませんでした。

しかし、今年になって、飯能市の震災復興元気市や、ツーデーマーチに参加したり、毎年交流している新庄まつりや小学校6年生の萩っ子歴史探検隊に顔を出し、始めて交流することの大切さを感じるようになりました。市民の方が交流していることの報告を聞くだけではなく、実際に自分で行って相手の方々とお会いし、お話しすることで本当の友好ができるものだと思います。様々なイベントで楽しみを共有し、相手の顔が見える友好をすることで、本当に困った時、心から助けてあげようという気持ちになれます。私も含め、市民の皆様にも、こういったイベントに積極的に参加していただければと思います。

意見交換会の開催

日頃はご支援・ご協力ありがとうございます。市政に対し、日頃から疑問に思っていること、意見したいと思っていることはありませんか？そこで、下記のとおり、意見交換会を開きたいと思います。日ごろの思いを吉川に聞かせていただければ思いますのでご自由にご参加ください。

日 時 平成24年10月13日(土)
午後3時より4時まで

場 所 総合福祉センター2階研修室